



大学教育再生加速プログラム



## 高知大学における 質保証の取組

高知大学  
副学長（教育・附属学校園担当）  
大学教育創造センター長  
小島 郷子



# 1. 高知大学の概要

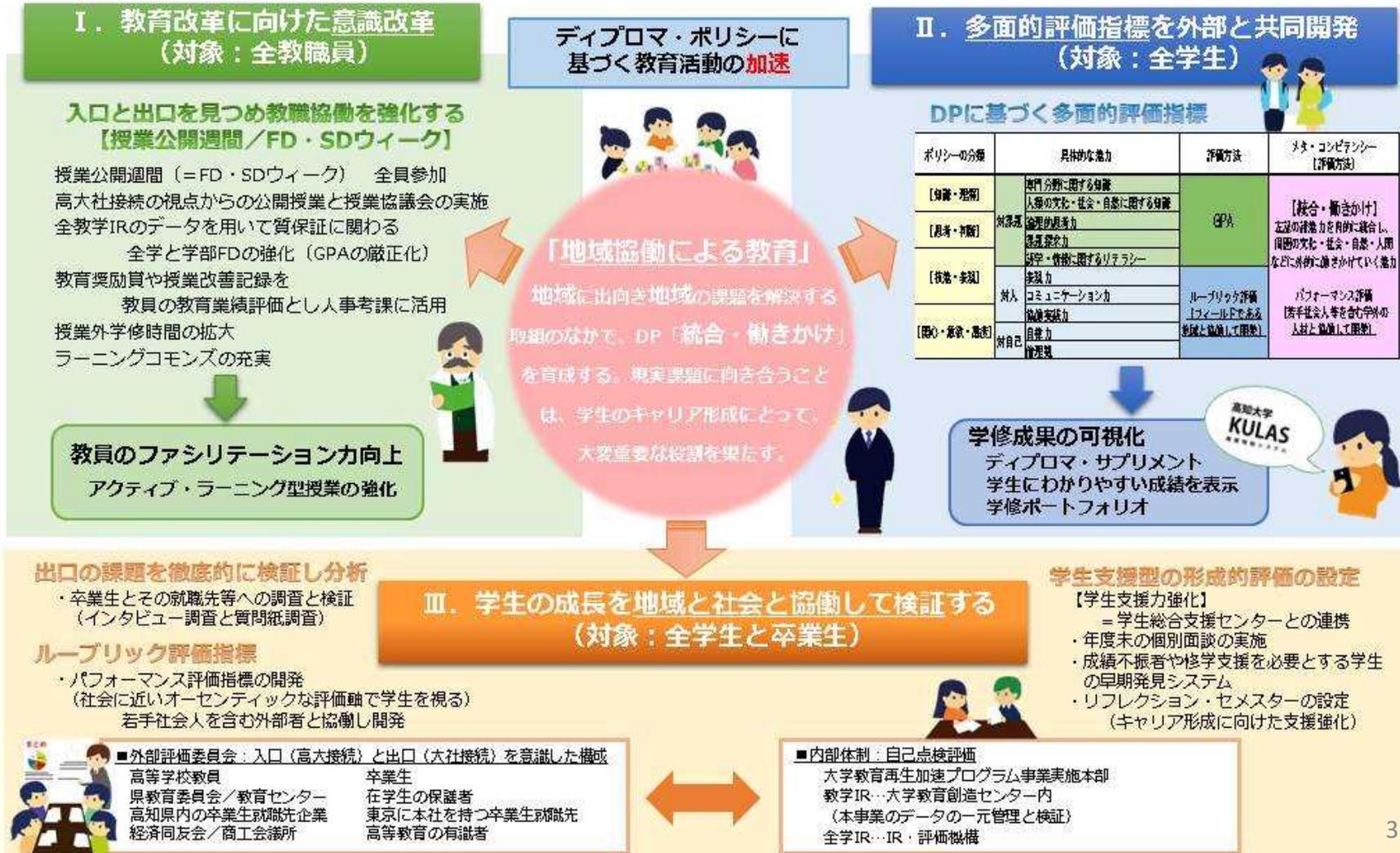
- 高知県内唯一の国立総合大学 1949年設立  
6学部  
(人文社会科、教育、理工、医、農林海洋科、地域協働)  
+土佐さきがけP
- 学部学生数 4,949名、大学院生数 (1研究科) 498名  
教職員数 1,851名 (平成29年5月現在)
- 基本目標【教育】  
総合的教養教育を基盤とし、「地域協働」による教育の  
深化を通して課題解決能力のある専門職業人を養成する。

# 2. 高知大学 A P 事業の概要

テーマV (質保証) 大学名: 高知大学

質保証の基盤構築に向けた「地域協働による教育」の多面的評価指標の実践的検証

IRを用いた学長の強固なリーダーシップの下の3つの大きな取組



## 2. 高知大学 A P 事業の概要

### 質保証の取組について①

#### 【主な取組】

1. 学修e-ポートフォリオを用いた取組
2. 大学における学びの調査の実施  
(授業外学修時間、大学教育満足度、大学生生活満足度等)
3. D P に基づくアセスメントツールの開発と実施  
(11の力を測定する独自アセスメントツール)
4. 外部客観テストの実施
5. A L C S 調査 (教学 I R コモンズ) の実施
6. 卒業生 (対象は前年度の全学部卒業生) 調査の実施
7. 卒業生とその就職先の上司へのインタビュー調査の実施

## 2. 高知大学 A P 事業の概要

### 質保証の取組について②

#### 【A P 事業前に抱えてきた課題】

##### 学生に対する質保証

- ◆ 授業科目全体の成績評価がわからない。
- ◆ アセスメントは行われているが、結果については一部のみの返却に留まる。学生によっては、アセスメントの結果を取りに来ない。

##### 大学全体の質保証

- ◆ アセスメントを複数実施してきたが、結果のフィードバックができていない。
- ◆ 大学満足度アンケートなど学部独自には行ってきたが、全学で統一したフォーマットでの調査は行っておらず、全学の実態は明らかにされてこなかった。
- ◆ 卒業生調査についても、一部の学部のみの実施に留まり、全学的な実施に至っていなかった。

## 2. 高知大学 A P 事業の概要

### 質保証の取組について③

#### 学生に対する質保証の取組

##### 【学生個人の学修成果の測定】

1. 成績評価の評定結果
2. G P A
3. 単位の修得状況
4. セルフアセスメントシートの結果  
(1年生と3年生)
5. 外部客観テストの結果  
(1年生と3年生)
6. 学内で開催した外国語テストの結果



#### ◆e-ポートフォリオを用いてフィードバック



#### 大学全体の質保証の取組

##### 【大学全体の成果の測定】

1. G P A
2. 学生の単位修得状況
3. 学生の授業外学修時間 (学年ごと、学部ごと)
4. セルフアセスメントシートの結果  
(1年生と3年生)
5. 外部客観テストの結果  
(1年生と3年生)
6. 学内で開催した外国語テストの結果
7. A L C S 調査 (教学 I R コモンズ) の実施
8. 卒業生調査の結果 (全学部の学生を対象)
9. 卒業生とその就職先の上司へのインタビュー調査



#### ◆全学のデータを一元管理し成果を測定する

#### ◆アセスメント関連は、全学統一フォーマットで実施し、検証する

#### ◆本学の情報だけで評価するのではなく、他大学のデータと比較検証ができるように担保する

### 3. 学生に対する質保証の取組 (e-ポートフォリオの活用事例)

#### ① 授業科目ごとに科目平均点と標準偏差を表示

色選択 | 高知大学 e-ポートフォリオ

こんにちは、学生 太郎さん

ホーム ログアウト

ホーム | **履修状況** | 成績分布 | 学生生活記録 | 進路・資格 | 目標・振り返り入力

プロフィール  
学生 太郎  
S09G5R96P  
その他 (3年生)

◆ 表示年度・学期

- 2017年度 第1学期
- 2016年度 第2学期
- 2016年度 第1学期
- 2015年度 第2学期
- 2015年度 第1学期

卒業時に達成していきたい目標  
英語でのコミュニケーション能力を磨いて、卒業後は外資系企業に就職し、海外でも仕事がき

2017年度 第1学期の学修目標  
時間にルーズなところがあるので、履修している授業に毎回遅刻せずに出席する。

2017年度 第1学期の振り返り  
成績発表がありました。成績や学生生活を振り返ってみましょう。

2017年度末の総合振り返り

アドバイザー-教員 教員 太郎  
2017/06/02 10:42

教員 太郎 テスト送信 (学内)  
2017/06/02  
学内からメッセージのテスト送信を行います。(添付ファイルあり)  
【添付ファイル有】  
既読 10:45

教員 太郎 テスト送信  
2017/06/02  
学外からテスト送信。添付ファイルあり。  
【添付ファイル有】  
既読 16:42

2017年度 第1学期 成績評価科目一覧	授業担当教員	シラバス ループリック	講義資料	資料URL	授業科目の 振り返り	成績 評価 (GP)	成績 評価 (評点)	修得 単位数	出席 (%)	授業 科目 平均点	授業科目 標準偏差	成績評価分布	ファイル
テスト授業科目 1		シラバス				優	81	2	-	79.9	9.3	成績評価分布	
テスト授業科目 2		シラバス											

授業科目ごとに、科目平均点と標準偏差を表示

年度・学期別修得状況	修得単位数	成績状況 (評点平均)	成績分布					
			秀	優	良	可	合格・認定	不可・不合格
2015年度 第1学期	18	67.5	2	2	1	4	0	1
2015年度 第2学期	22	75.8	0	9	2	0	0	1
2016年度 第1学期	25	83.8	4	6	2	1	0	0
2016年度 第2学期	19	84.2	5	3	3	1	0	0
2017年度 第1学期	23	85.5	4	6	3	0	0	0

### 3. 学生に対する質保証の取組 (e-ポートフォリオの活用事例)

#### ② 授業科目ごとに成績分布を表示

色選択 |  高知大学 e-ポートフォリオ こんにちは、学生 太郎さん

ホーム ログアウト

ホーム | 履修状況 | **成績分布** | 学生生活記録 | 進路・資格 | 目標・振り返り入力

プロフィール  
学生 太郎  
S09G5R96P  
その他 (3年生)

本授業科目の情概一覧

教員名	教員 太郎
時間割	
出席率	-
シラバス	<a href="#">シラバス</a>
成績評価 (GP)	優
成績情報	<a href="#">成績分布</a>

2017年度 第1学期  
授業科目名 : ●●●●●

グラフ集計

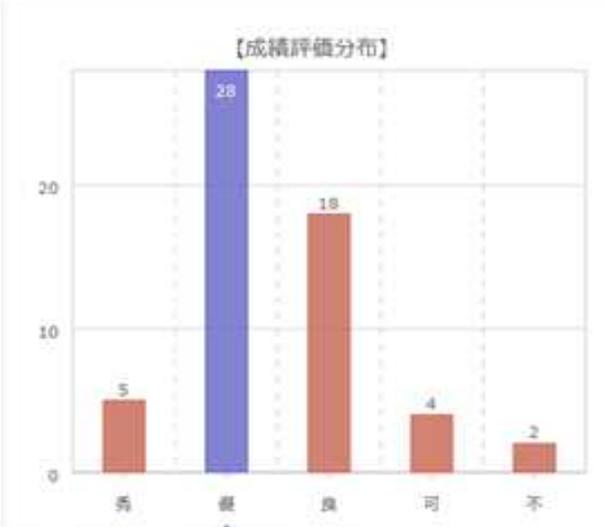
成績評価 (GP)	成績評価 (評点)	出席 (%)	科目平均点	科目標準偏差
優	85	-	79.2	9.1

あなた | 受講者平均

**【成績分布表示】**  
履修した授業科目ごとの成績分布を開示

表示項目：  
科目平均点  
標準偏差  
成績評価分布  
(棒グラフ)

【成績評価分布】



※集計対象には非正規生を含みません。

# 3. 学生に対する質保証の取組 (e-ポートフォリオの活用事例)

## ③学修成果の成績の可視化

色選択

おはようございます、学生 太郎さん

[ホーム](#) [ログアウト](#)

ホーム | 履修状況 | **成績分布** | 学生生活記録 | 進路・資格 | 目標・振り返り入力

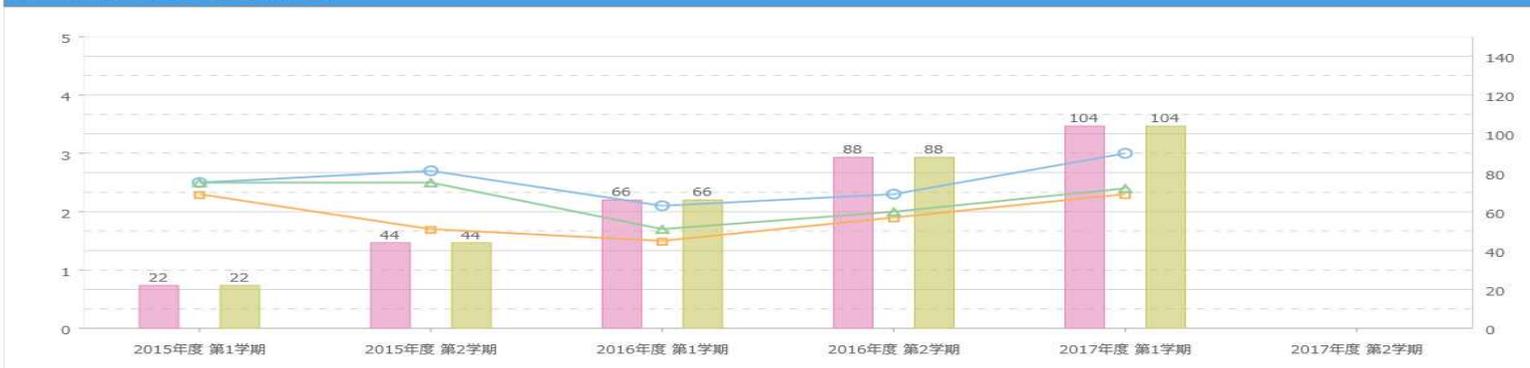
1. 2017年度 第1学期の成績分布



2. これまでの成績分布 (累積)



3. GPA・修得単位数の推移



↓の各項目をクリックすることで、クリックした年度学期から前後2年分の折れ線グラフに切り替えることができます。

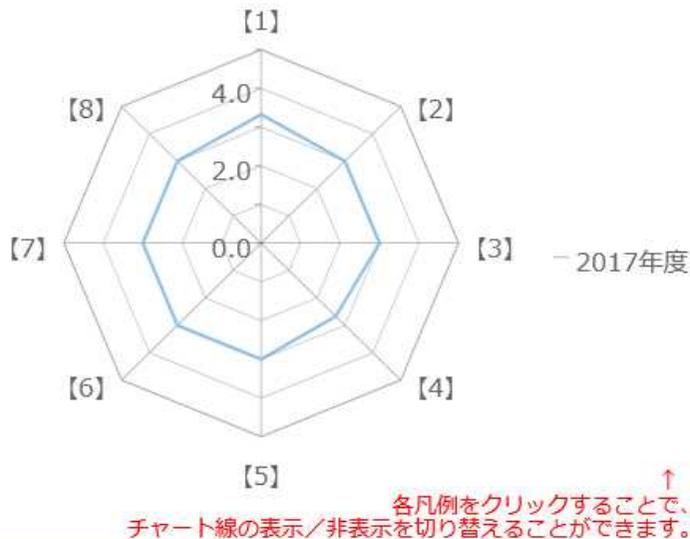
	2015年度 第1学期	2015年度 第2学期	2016年度 第1学期	2016年度 第2学期	2017年度 第1学期	2017年度 第2学期
○ 共通教育科目 (要卒科目)	2.5	2.7	2.1	2.3	3.0	-
□ 専門科目 (要卒科目)	2.3	1.7	1.5	1.9	2.3	-
△ 全科目 (要卒外含)	2.5	2.5	1.7	2.0	2.4	-

↑の各項目をクリックすることで、各折れ線の表示/非表示を切り替えることができます。

### 3. 学生に対する質保証の取組 (e-ポートフォリオの活用事例)

#### ④ DPに基づく11の力の測定結果のフィードバック

セルフアセスメントの結果



	2017年度
【1】 論理的思考力	3.33
【2】 課題解決力	3.00
【3】 表現力	3.00
【4】 コミュニケーション力	2.67
【5】 協働実践力	3.00
【6】 自律力	3.00
【7】 リテラシー・倫理観	3.00
【8】 統合・働きかけ	3.00

閉じる

- ・全学部1年生と3年生にセルフ・アセスメントを4月に実施

- ・e-ポートフォリオ内に結果を表示

## 4. 大学全体の質保証の取組

### ① アセスメントの開発（DPに基づくアセスメントの開発）

#### 【開発の経緯】

DPに基づくアセスメントの前型として、平成24年度以降、全学部1年生と3年生を対象に実施してきたセルフアセスメントシートを基盤に検討を行った。

平成28年度に実施した3つのポリシー見直しの際に、本学が掲げる総合的教養教育の10の力とそれらを統合し、外部に働きかける力を合わせた11の力を定義した。それに基づいて、改訂版セルフアセスメントシートを作成した。

この改訂時には、地域の企業や教育委員会に所属する社会人5名と本学教員で構成する多面的評価指標研究会においても、検討を重ね、社会や地域における人材育成・評価の視点を取り入れて開発を行った。

#### 【アセスメントの内容】

本学のディプロマポリシーに基づき、10+1の力のうち、論理的思考力、課題探求力、表現力、コミュニケーション力、協働実践力、自律力、リテラシー・倫理観、10の能力を統合し周囲の人に働きかける力の8つのスキル24項目で測定する。

## 4. 大学全体の質保証の取組

### ②卒業生調査の実施（対象：前年度の全学部卒業生）

#### 【卒業生アンケート調査の実施状況】

**時期：平成28年12月～29年1月**

**対象：平成27年度 全学部卒業生 1,071名**

**回収率：19.6%**

#### 調査項目：

- ① 現在の就業状況
- ② 高知大学で受けた教育や学生生活支援に対する満足度
- ③ 総合的教養教育で掲げてきたコンピテンシーの身に付き度
- ④ 在学中に身に付けておきたかったスキルについて
- ⑤ 大学教育の学修機会について

## 4. 大学全体の質保証の取組

### ③卒業生とその就職先の上司へのインタビュー調査の実施

#### 【調査について】

本調査は、第2期中期目標期間（平成22年～27年度）に、本学の教育を受けた卒業生とその就職先の上司を対象にインタビュー調査を行った。本調査研究は、ベネッセ教育総合研究所と共同して行っている。

#### 調査対象：

- 首都圏11組、高知県内18組の合計29組の卒業生とその就職先の上司

#### 調査時期：

- 平成29年9月に実施

#### インタビュー内容：

- 卒業生…大学生活が、現在の自分（仕事）にどれくらい役立っているか？  
自己の強みと課題  
後輩／高知大学への要望
- 就職先…卒業生への期待  
卒業生の強みと課題  
職場で求められる必要な人材要件

調査結果については、現在検証中であり、結果については学会等で報告する予定である。

## 5. 今後の質保証の取組について

### 【学生の学修成果の可視化】

- e-ポートフォリオの継続構築

授業科目ごとのルーブリック評価機能  
授業科目ごとのアンケート機能の拡充  
(学生への即時フィードバック機能を含む)

- プレ・ディプロマ・サプリメント（仮称）の発行
- ディプロマ・サプリメントの発行